

2月試験(後期) 日本史 解答

解答番号	正解
1	④
2	②
3	③
4	①
5	⑤
6	④
7	①
8	④
9	④
10	⑤
11	③
12	③
13	①
14	②
15	④
16	⑤
17	⑨
18	④
19	①
20	④

解答番号	正解
21	④
22	④
23	②
24	②
25	⑤
26	④
27	③
28	①
29	④
30	②
31	③
32	③
33	⑤
34	③
35	④
36	④
37	④
38	②
39	⑤
40	④

2月試験（後期） 日本史 出題の意図

大問番号	出題の意図
1	奈良時代前期から中期にかけての政治史の基礎知識を、実施された政策とその当時の政権担当者を連動して正しく理解しているかどうかを問うた。政治の動向を手掛かりに、社会全体の変貌を読み取ることを期待して、質問を工夫した。
2	中世の文化史について、中世の禅宗について、文化との関りも含めて問うた。禅僧の事績や五山文学について基本的な事柄を理解しているかを確認した。また、鎌倉～南北朝時代に書かれた歴史書／歴史物語について、作品とその著者について理解しているかを問うた。
3	近世史のなかでも、天保の改革における法令と歴史的背景を問う出題とした。「日本史探究」に関する基礎的な知識の定着を確認するとともに、幕府の政治改革と社会・経済の変容との関連にも留意し、総合的な理解度を問うことを意図した。
4	近代（開港後）の日本における経済や政治についての設問である。海外との具体的な貿易産品や額を確認する出題を中心とした。特に意図したのは、文章のみではなく図表からの読み取りが正確にできるかという、昨今重要視されている視点である。